

全国ネット通信

2016 夏号 Vol.23
平成28年7月1日発行

パリ協定の“実施元年”

環境省 地球環境局長 鎌形 浩史



日頃より、地域における地球温暖化防止活動の推進に大変ご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

6月17日付けで地球環境局長を拝命いたしました。今年はパリ協定の“実施元年”。地球が直面する課題にしっかりと取り組んでまいります。

本年5月13日に、「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。パリ協定を受けて、世界が新しいスタートを切る年に、我が国としても地球温暖化対策の礎となる計画を取りまとめることができ、これから目標の実現に向けて「行動あるのみ」との思いです。計画では、2030年度の26%削減目標の達成に向けた道筋を明らかにし、2050年までに80%の排出削減を目指すという長期的な目標を位置付けるとともに、国際的連携や国際協力についても施策を充実させることができ、我が国がパリ協定を踏まえ、気候変動問題の解決に貢献していく決意を示したことは大変意義があることだと考えています。

また、計画の中では、2030年度26%削減の達成に向け、事業者、国民などの各主体が何を、どこまでやるのかということを明らかにしました。目標達成には、地方公共団体、事業者、国民一人ひとりを含めたあらゆる主体による積極的な行動が不可欠です。今後、関係省庁とともに政府一丸となって本計画を推進してまいります。

2030年度目標達成に向けては、家庭・業務部門で約4割の大幅な温室効果ガス排出削減が必要です。規制、税制、補助金といった政策手法に加え、効果的な普及啓発を行うことによって、国民一人ひとりに具体的な削減行動を実践いただき、ライフスタイルを転換していくことをお願いしなければなりません。政府では、昨年来、低炭素型の製品・サービス等の賢い選択を促す国民運動として「COOL CHOICE」を展開しています。今年に入り、普及啓発を強化するなどの国の方針を明確にするため、地球温暖化対策推進法を改正し、また、エコカー、省エネ家電・住宅等の普及を加速するため、環境大臣がチーム長となり、経済界などをメンバーとした「COOL CHOICE

推進チーム」を設置したところです。こうしたことも踏まえ、関係省庁、経済界やメディア、自治体、NPO等とも十分に連携し、温暖化の影響が既に深刻なものとなっていることや、具体的な対策メニューやメリットなどの情報を的確に発信していきます。例えば、LED等の高効率照明への転換を、2030年までにほぼ100%完了させることが、目標達成のための対策の一つです。国民の皆様には、これまで普及していた白熱電球・蛍光灯を、順次、LEDに買換えていただく必要があります。LED以外にも、一人ひとりが実際に選択する取組をイメージしやすくなるよう、地域や住居の種類、家族構成、予算等に応じた、省エネ家電への買換えなどの様々な取組のパッケージを、分かりやすく発信していきます。実施すべき目標は明確となりました。あとはそれをいかに実現するかです。国民運動を全国津々浦々に展開する鍵となるのは、温暖化対策の地域活動を全国で支援・推進する全国ネット会員の皆様です。地域における更なる市民力の発揮に取り組んでいただきたいと思います。

5月に開催されたG7富山環境大臣会合とG7伊勢志摩サミットでは、2016年中のパリ協定発効に向けて取り組むこと、長期温室効果ガス低排出発展戦略を2020年の期限に十分先立って策定することに各国がコミットしました。G7各国が戦略を率先して提出することが、民間や他国に低炭素社会に向けた強いシグナルを送ることになると考えており、まずは、環境省として「長期低炭素ビジョン」の検討に着手します。

世界各国、また、企業の間では、パリ協定を受け、既に脱炭素化に向けたイノベーションが始まっています。今後、ビジョンの検討を行う中で、長期大幅削減が実現した社会の絵姿や、そこに至る道筋について、議論し、広く共有する努力を積み重ねていきたいと思っています。2030年目標の実現、その先の長期大幅削減に向けて、引き続き全国ネット会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「クールチョイス！ 節エネガイド2016」を配布しています！

全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)では、今年も「楽しく“節エネ”ライフ」を推進するため、「クールチョイス！ 節エネガイド2016」を作成しました。

本紙は、2015年に採択された温暖化対策の新たな枠組み「パリ協定」の目標達成のために、低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという国民運動「COOL CHOICE」について詳しく取り上げている他、地球温暖化、気候変動の最新情報とともに、地球温暖化対策のために家庭で出来ること、ちょっと賢い、お得な情報などを掲載しております。

また、地球温暖化の最新の現状や対策に関する図表、パリ協定に関する図表をはじめ、本紙に掲載された図表の一部は、JCCCAウェブサイト「すぐ使える図表集」にてダウンロードが可能となっています。

なお、無料配布(送料のみご負担となります)も行っていますので、イベントに、出前講座に、勉強会に、ぜひご活用ください！

詳細は・・・

JCCCA 節エネガイド2016

検索



図表はJCCCAウェブサイト「すぐ使える図表集」よりダウンロードできます！



「平成28年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」&「低炭素杯2017」応募者募集中！！

平成28年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰！応募締切迫る！

平成28年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の募集がスタートしています。

地球温暖化防止活動環境大臣表彰とは、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人・団体を表彰することにより、受賞者における一層の取組の推進を促すとともに、国民・事業者等に対する地球温暖化対策の普及の促進を図ることを目的として、平成10年から実施している環境省主催の表彰制度です。

応募の締切は8月3日(水)です。自薦他薦は問いませんので、環境省ホームページをご覧ください。



詳細は・・・

平成28年度環境大臣表彰

検索

低炭素杯2017エントリー開始！今年度のテーマ部門は「自治体部門」に！

次世代に向けた低炭素な社会の構築を目指し、全国の優れた取り組みを表彰する「低炭素杯2017」の出場団体募集がスタートします。

7回目を迎える今年度は、新たに「自治体」をテーマにした部門を創設しました。選考を通過したファイナリストがプレゼンテーションを展開し、環境大臣賞グランプリを競います。

また今年はアンバサダーとして、さかなクンが就任し、低炭素杯2017を盛り上げます。皆様ぜひご参加ください！

【エントリー募集締切】9月12日(月)

【開催日程(予定)】2017年2月16日(木)プレゼンテーション、表彰式

【開催場所】日経ホール(東京都千代田区大手町)

【詳細・お問い合わせ】低炭素杯事務局(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
URL: <http://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>
Mail: teitanso-hai@jccca.org



低炭素杯2016表彰式の様子

3つの団体が市センターに指定され、2つの団体が新会員になりました！

平成28年度より、「特定非営利活動法人 環境活動センター八王子(東京都八王子市)」と「特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム(滋賀県大津市)」が会員となりました。また、それぞれ平成28年度より市センターとして地球温暖化防止活動推進センターに指定されたほか、長崎県センターの指定団体である「公益財団法人 ながさき地域政策研究所(長崎県長崎市)」も、市センターに指定されました。

特定非営利活動法人 環境活動センター八王子(八王子市地球温暖化防止活動推進センター)

理事長 池田 丈三

所在地 東京都八王子市

業務概要 地球温暖化対策に関するイベントの開催、相談窓口、普及啓発及び情報収集・発信を行っていくとともに、市民・事業者の皆様が行動するきっかけ作りを広めていきます。



おどりのカーテンづくり講座



2016八王子環境フェスティバル

【会員になった理由】

全国センターはもとより、他の地域センターからの情報や助言が受けられやすくなり、地域センター間での共有化が図れること。また、全国的な行動に参加できることや、実践している取り組みのメリット・デメリットの判断が付けやすいなどもあげられます。

【組織の強み】

市民一人ひとりと接触し、温暖化防止に向けた行動の輪を広げていくことを目指していますが、この取り組みを支援してくれているのが、多くの実績と経験を持つ、23名の八王子市地球温暖化防止活動推進員と220名の環境市民会議の皆さんです。特に、環境市民会議においては6地区に分かれ、それぞれの地域の特性を生かした環境保全活動を行っています。各地区の代表が当NPO法人の役員に就任しており、そのことが当団体の最大の強みとなっています。

特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

理事長 竺 文彦

所在地 滋賀県大津市

業務概要 「アジェンダ21 おおつ」に基づき地域における地球温暖化防止事業・生物多様性保全事業・環境教育の普及を3本の柱として、持続可能な社会を築く活動をしています。



おおつエコフェスタ



気候変動影響調査ワークショップ

【会員になった理由】

気候変動による異常気象の多発・温暖化防止に対する国際的合意の高まりを背景として、地域における活動の幅と奥行きを広げることが必要と感じて、全国各地の皆さんとの情報交換・交流を深め、持続可能な低炭素社会づくりに貢献したいと思います。

【組織の強み】

大津市は琵琶湖畔に立地し自然環境に恵まれ、多くの市民が環境に関心を持っています。法人化前を含めると15年の活動実績をもち、会員(28年5月末175名)がそれぞれ関心のある環境課題に取り組んでいます。温暖化防止については家庭や企業向けの省エネ・創エネを推進するエネルギープロジェクト、事業者向け環境マネジメントシステムの普及を図るKES事業の他、自治会と連携したエコライフデーや「うちエコ診断」の実施、また今年からは家庭向けの省エネ簡易診断も開始します。

公益財団法人 ながさき地域政策研究所(長崎市地球温暖化防止活動推進センター)

センター長 原田 幸二

所在地 長崎県長崎市

業務概要 長崎市民に出前講座・セミナー・イベントなどの環境保全活動やうちエコ診断による節電や省エネ対策のアドバイスをを行い、地球温暖化防止に向けた普及・啓発を図っています。



カフェコーナー・キッズスペース



レンタルスペース

【会員になった理由】

地球温暖化防止活動に取り組んでいる団体との情報共有・情報交換を行い、今後もより一層の地球温暖化防止に向けた取り組みを進めていきます。

【組織の強み】

地球温暖化防止に係わる多様な団体と密接な連携をとるとともに、市民の環境活動拠点「サステナプラザながさき」を開設し、地域に密着した、より住民に身近で、きめ細やかな、相談、助言、支援を行っています。この「サステナプラザながさき」では、環境活動に係る会議や講演などの活動に、事務所をレンタルスペースとして貸し出したり、市民に気軽に立ち寄ってもらえるようカフェコーナーやキッズスペースも設けています。

第11回社員総会(平成28年度定時社員総会)を開催しました

平成28年6月13日(月)午後1時30分から、TKPガーデンシティ御茶ノ水において、52団体の参加を得て、第11回社員総会を行いました。

始めに、理事長 長谷川 公一の挨拶、次に、ご来賓として、環境省地球環境局長 梶原 成元 様にご挨拶をいただいた後、平成27年度事業報告書及び決算等について審議し承認を受けました。

続いて、環境省地球環境局低炭素社会推進室の安田 室長補佐より、COP21で採択されたパリ協定や本年5月に閣議決定された、地球温暖化対策を総合的、計画的に推進するための「地球温暖化対策計画」に基づく温室効果ガスの削減ロードマップについて、ご講演をいただきました。計画では、2030年度に2013年度比で26%削減するとの中期目標について、各主体が取り組むべき対策や国の施策を明らかにし、削減目標達成への道筋を付けるとともに、長期的目標として2050年までに80%の排出削減を目指すことを位置付けており、地球温暖化対策を進めていく上での礎となるものです。

この点を踏まえ、特別講演として、慶應義塾大学特任教授 小林 光 様より、「地球とつながる暮らしのデザイン」と題し、自らの実践を踏まえた家庭における環境と経済の両立を目指す取り組みについてお話を伺い、全国ネット会員の、今後の活動へ大変有効な示唆をいただきました。



環境省地球環境局長 梶原 成元 様



慶應義塾大学特任教授 小林 光 様



環境省地球環境局低炭素社会推進室 安田室長補佐のご講演



第11回社員総会の様子

編集後記

今年も、地震や大雨、洪水など、災害に関するニュースを毎日のように目にします。この夏も、高温や集中的な豪雨が懸念されますが、大きな災害にならないことを祈ります。

巻頭記事のように、G7富山環境大臣会合が開催され、「地球温暖化対策計画」が閣議決定されて、目標の実現に向けて動き出しました。今後、低炭素社会を実現していくための普及啓発が更に重要になると考えます。

今年度、地域センターの役割が期待される中、新しく3センターが加入されました。何れも地域での活動実績がある団体ですので、全国ネット全体の活性化も期待されます。

今後、新米次長として、地域センターのネットワークや成果を生かすことに少しでもお役に立てるよう努めてまいります。様々な機会に、地域の活動実態を教えてくださいたいと思いますが、引き続きご指導をお願いいたします。

事務局次長 木場 和義

エコアナウンサー

櫻田彩子のミニコラム

櫻田 彩子 プロフィール
Sakurada Ayako Profile
宮城県出身のエコアナウンサー。
テレビ朝日「じゅん散歩」レポーターほか、
「低炭素杯」の司会など。



「フォン、フォン!」。娘を乗せたベビーカーを押しながら横断歩道を渡っていると、赤信号で止まっているバスのクラクション。バスの運転手さんと目が合いました。私の来た方向を指差しています。娘が靴を片方落としていたのです。わ!良かった～。お辞儀して戻る私。

運転手さんは、知らないふりをする事も出来たはずですがクラクションを鳴らしてまで親切に教えてくれました。思いやりですね。

ふと、思いました。地球温暖化防止活動って「思いやり」ですね。地球の温度を下げるために私達が行う行動は、家族や自分を守るのと同じように他の人や他国の人を思いやり、守ることに繋がっています。専門的で難しくやらなきゃいけない事も沢山あるけれど、ずっと日本人が持ち続けてきた思いやりのような、素直に心が動く事にも大事な意味がある気がするこの頃です。



木陰でクールシェア

賛助会員
募集中!

一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの
活動をサポートしてください!

年会費：個人会員1口 5,000円(1口以上) 団体会員1口 20,000円(1口以上)

【編集・発行】一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(JNCCA)



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一マイビル4階

TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-5280-8100 <http://www.zenkoku-net.org/>



古紙/バブル配合率70%再生紙を使用

